

屋内配線工事技能オリンピックの意義

本競技大会は、昭和43年以来の切れ目のない開催により、**若手電気工事士を育成**するとともに、進化する**最新機器に対応した配線技術**を磨き、四国の皆様に安全な電気を快適にご使用いただくための**技能の継承と向上**を支え続けています。

■ 技能のレベルアップと職場への還元

競技の場での切磋琢磨は、選手にとって大きな刺激となります。また、先輩から後輩への選手経験の伝承、職場等での指導、そして練習時間確保のための業務調整など、選手を送り出す各企業のご協力は、出場選手個人の成長に留まらず、それぞれの職場、ひいては電気工事士全体の技能の底上げへと還元されていきます。

■ 明確な目標設定と電気工事士の重要性の発信

中国四国産業保安監督部四国支部からの支部長賞の授与や審査委員長・審査委員の派遣など、関係各所の多大なご支援のもと「オリンピック」にふさわしい競技大会の運営に努めております。

これは選手に明確な努力目標を提示するだけでなく、地域インフラを最前線で支える電気工事士の重要性を、社会へ広く発信する大切な機会となっています。

■ 次世代へつなぐ「継続」の力

技能の伝承には「切れ目なく続けること」が最重要であり、コロナ禍で集合行事の中止が相次いだ当時（令和2年）にも、感染防止対策を徹底して開催しました。

今後も本競技大会を通じ、関係各所との連携のもと、電気工事士の技能向上を図り、四国の電気の安全に貢献できるよう努めてまいります。